

1959年 大会記録

※注釈なしはフリースタイル

国際

◇米国西部選手選手権（3月6～7日、オークランド）

▼フライ級 梅沢壤（神奈川・慶応高）、青木広彰（慶大）、▼バンタム級 中西一郎（慶大）、橋本精一（慶大）、▼フェザー級 柴田陽正（日体大）、西脇義隆（関大）、喜多村英輔（近大）、小宮健治（法大）、星名明（明大）、重岡完治（関大OB）

◇全米選手権（4月15～18日、スティルウォーター）

▼フライ級 梅沢壤（神奈川・慶応高）、青木広彰（慶大）、▼バンタム級 中西一郎（慶大）、橋本精一（慶大）、▼フェザー級 柴田陽正（日体大）、西脇義隆（関大）、喜多村英輔（近大）、小宮健治（法大）、星名明（明大）、重岡完治（関大OB）

◇世界選手権（10月1～4日、イラン・テヘラン）

▼フライ級 鳥倉鶴久（専大）＝五失、▼バンタム級 浅井正（中大OB）＝四失、▼フェザー級 中川清（中大OB）＝三失、▼ライト級 味方正宏（明大OB）＝三失、▼ウェルター級 石倉俊太（明大OB）＝四失、▼ミドル級 永井隆（中大OB）＝五失、▼ライトヘビー級 重岡完治（関大OB）＝二失、▼ヘビー級 石黒馨（中大OB）＝二失

国内

◇関東学生春季新人戦（4月25～26日、東京・青山レスリング会館）

《優勝者》▼フライ級 岩岡昭雄（明大）、▼バンタム級 池田進（日大）、▼フェザー級 渡辺長武（中大）、▼ライト級 倉田勝美（明大）、▼ウェルター級 川口恭三（中大）、▼ミドル級 風間貞夫（明大）、▼ライトヘビー級 大塚勇（法大）

◇全国高校選抜大会（5月13日、新潟・新潟明訓高）

《学校対抗戦》[1] 新潟・新潟商（2年連続3度目）、[2] 富山・滑川、[3] 神奈川・慶応、東京・東京実

◇関西学生春季リーグ戦（5月29～31日、大阪・阿倍野体育館）

《順位》[1] 関学大（3季連続15度目）、[2] 関大、[3] 近大、[4] 同大、[5] 名商大

◇関東学生リーグ戦（6月13日～7月11日、東京・青山レスリング会館）

《順位》[1] 明大（2年連続14度目）、[2] 中大、[3] 日大、[4] 専大、[5] 慶大、[6] 早大、[7] 法大

◇ローマ五輪第1次予選会（6月19～22日、東京・青山レスリング会館）

※各階級4～6選手を選抜（成績省略）

◇インターハイ（8月16～18日、秋田・五城目一中）

《学校対抗戦》[1] 東京・東京実（2年連続2度目）、[2] 新潟・新潟商、[3] 神奈川・慶応、新潟・新潟明訓

《個人戦優勝者》▼52kg級 山崎勝之（新潟・新潟明訓）、▼55kg級 吉田義勝（北海道・旭川商）、▼58kg級 岩上竹三（群馬・館林）、▼61kg級 貫井成男（東京・東京実）、▼65kg級 阿倍勲（宮城・仙台商）、▼69kg級 石川武男（秋田・秋田工）、▼69kg以上級 湯本（岡山・関西）

◇全日本社会人選手権（7月26日、青山レスリング会館）

《実業団対抗》[1] 小玉合名、[2] 帝国石油秋田、[3] 日本カーベイト工業

《優勝者》▼フライ級 平田孝（法大OB）、▼バンタム級 今井清吉（今井商店）、▼フェザー級 榊原弥吉（榊原商会）、▼ライト級 佐藤美喜男（小玉合名）、▼ウェルター級 黒田汎（日本カーバイド）、▼ミドル級 永井隆（赤城印刷）、▼ライトヘビー級＝出場なし、▼ヘビー級 石黒勲（日本通運）

◇全日本学生選手権（9月11～13日、東京・青山レスリング会館）

《優勝者》▼フライ級 松原正之（日大）、▼バンタム級 石沢二郎（明大）、▼フェザー級 本川信行（法大）、▼ライト級 山本憲司（法大）、▼ウェルター級 武田幸彦（中大）、▼ミドル級 青海上（明大）、▼ライトヘビー級 二階堂誠（中大）

◇東日本学生王座決定戦（10月16～19日、東京・青山レスリング会館）

中大○ [6-4] ●明大

※中大は3年連続6度目の優勝

◇国民体育大会（10月26～29日、東京・東京教育大）

《一般優勝者》▼フライ級 原田紀之（東京）、▼バンタム級 石沢二郎（新潟）、▼フェザー級 松尾精久（埼玉）、▼ライト級 阿倍一男（新潟）、渡辺修（千葉）、▼ミドル級 青海上（新潟）、▼ライトヘビー級 川野俊一（神奈川）、▼ヘビー級 風間貞夫（新潟）

《高校優勝者》▼52kg級 山崎勝之（新潟）、▼55kg級 上武洋次郎（群馬）、▼58kg級 岩上竹三（群馬）、▼61kg級 貫井成男（東京）、▼65kg級 堀川康雄（神奈川）、▼69kg級 天谷政幸（群馬）、▼73kg級 村上篤（新潟）

◇関東学生秋季新人戦（11月7～8日、東京・青山レスリング会館）

《優勝者》▼フライ級 梶川雅史（明大）、▼バンタム級 大島大和（日大）、▼フェザー級 佐藤多美治（中大）、▼ライト級 渡辺長武（中大）、▼ウェルター級 倉田勝美（明大）、▼ミドル級 川口恭三（中大）、▼ライトヘビー級 風間貞夫（明大）

◇関西学生秋季リーグ戦（11月12～13日、兵庫・神戸YMCA）

《順位》[1] 関学大（4季連続16度目）、[2] 関大、[3] 近大、[4] 同志社大

◇全日本選手権＝フリースタイル（11月21～23日、岡山・岡山市体育館）

《優勝者》▼フライ級 松原正之（日大）、▼バンタム級 大橋弘次（明大）、▼フェザー級 島村保行（慶大）、▼ライト級 山本寛司（法大）、▼ウェルター級 武田幸彦（中大OB）、▼ミドル級 石川忠男（日大）、▼ライトヘビー級 川野俊一（法大OB）、▼ヘビー級＝出場なし

◇全日本学生王座決定戦（11月26日、神戸YMCA）

中大○ [9-2] ●関学大

※中大は3年連続6度目の優勝

◇全日本選手権＝グレコローマン（12月5～6日、神奈川・横浜市公園体育館）

《優勝者》▼フライ級 田代孝（早大）、▼バンタム級 吉田有明（中大OB）、▼フェザー級 佐藤多美治（中大）、▼ライト級 稲葉哲也（中大OB）、▼ウェルター級 石倉俊太（明大）、▼ミドル級 青海上（明大）、▼ライトヘビー級 川野俊一（法大OB）、▼ヘビー級 石黒治（中大OB）